

歴史

項目	観点	教科書名							
		新しい社会 歴史(2・東書)	中学社会 歴史 未来をひらく(17・教出版)	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き(46・帝国)	中学歴史 日本と世界(81・山川)	中学社会 歴史的分野(116・日文)	新しい歴史教科書(225・自由社)	[最新]新しい日本の歴史(227・育鵬)	ともに学ぶ人間の歴史(229・学び舎)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、多面的・多角的に考察する力を養うために、どのように配慮されているか。	・「チェック」や「トライ」、資料等において、歴史に関わる事象についての意味や意義、伝統と文化の特色などを問い、歴史に関わる事象について考察できるよう配慮されている。 ・「もっと歴史」のページや「スキル・アップ」コーナーが設定してあり、情報を収集したり、読み取って効果的にまとめたりするなど、歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察する力を養えるような工夫が見られる。	・「確認」や「表現」、資料等において、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などについて問い、歴史に関わる事象について考察できるよう配慮されている。 ・興味・関心を広げ、視点を変えて捉え直すことができるように「歴史の窓」や「歴史の技」、「地域調査の手引き」等を提示することにより、多面的・多角的に考察する力を養うよう配慮されている。	・「確認しよう」や「説明しよう」、資料等において、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色について考察することができるよう配慮されている。 ・歴史の理解を深めることができるように、多様な立場や異なる見方を示す資料や「人物コラム」、「未来に引き」等を提示することにより、多面的・多角的に考察する力を養うよう配慮されている。	・「ステップアップ」や資料等において、現在の私たちの生活に関わっていることを想起させ、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などについて考察できるよう配慮されている。 ・歴史に関わる事象の前提・結果・影響を学べるように、より深く考えるための資料を提示することにより、多面的・多角的に考察する力を養うよう配慮されている。	・「確認」や「深めよう」、資料等において、歴史に関わる事象が今の生活にどのような形で残っているかなどと問い、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察できるよう配慮されている。 ・生徒が見通しをもてるように、「見影響を学べるように、より深く考えるための資料を提示することにより、多面的・多角的に考察する力を養うよう配慮されている。	・「読み物資料」を入れることで、本文の記述内容について理解を深め、歴史の見方のヒントとなり、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察できるよう配慮されている。 ・写真や絵、読み物資料などの多様な資料に加え、吹き出しで本文の記述とは異なる視点を示し、多面的・多角的に考察する力を養うよう配慮されている。	・見開きのページでの「学習のまとめ」や資料等において、私たちの暮め、歴史の見方のヒントとなり、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察できるよう配慮されている。 ・問題解決型の学習が展開できるように、「歴史ビュー」や「人物クローズアップ」のコラム等を提示し、多面的・多角的に考察する力を養うよう配慮されている。	・本文中や資料等において、当時の人々の思いや苦労、生活の知恵などについて取り上げ、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色等について考察できるよう配慮されている。 ・歴史の舞台に焦点をあて、当時の人々の生活を取り上げた「フォーカス」等を提示することにより、多面的・多角的に考察する力を養うよう配慮されている。
2 内容の程度及び取扱いについて	○主体的・対話的で深い学びを実現するためにどのような工夫が見られるか。	・巻頭で、歴史上の出来事をイラストで掲載し、小学校からの歴史学習を想起しながら、日本の歴史の大きな流れを大観できるようしているところに工夫が見られる。 ・1時間の学習課題が大きく提示されていて、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 ・「みんなでチャレンジ」のコーナーを設けて、対話的な学習を促す配慮がされている。 ・単元末での時代の特色をとらえる学習では、単元ごとにXチャート、ステップチャート、マトリックスの活用などの多様なまとめ方で構成されており、生徒の思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫が見られる。	・各章の導入で、見開きのページを使い、章に関連する絵などを大きく提示して、生徒の興味・関心が高まる構成となっている。 ・1時間が見開きのページになっている、学習課題から振り返りまでの学習の流れが見通せる構成となっている。 ・キャラクターが資料の読み取りや、考察を促すようにし、学習の流れに即して調べ学習ができるようにしている。 ・章末に「学習のまとめと表現」があり、最初の見開きのページに年表をもとに重要語句をまとめるページがあり、次にその時代を大観するためのページが構成されている。	・「タイムトラベル」という各時代ごとの人々の生活に視点をおいた資料を大きく提示することにより、自分たちの生活を比較したり、前の時代との比較をしたりして、学習課題を設定しやすくなっている。 ・深い学びにつなげるために、「章の問い」、「節の問い」、「見開きの問い」で構成されていて、それぞれを振り返っていきながらまとめる流れで構成されている。 ・章末に「章の学習を振り返ろう」を見開きのページで構成してある。自分の考えを整理し、自分の言葉でもとに重要語句をまとめるページがあり、次にその時代を大観するためのページが構成されている。	・各章の導入で、見開きのページを使い、その章での学習内容を年表を中心に図版等も提示して、生徒の興味・関心が高まる構成となっている。 ・1時間ごとの学習課題が明確に示されていて、何を学ぶかが明確になっている構成である。 ・各ページにある用語解説が詳細なものになっていて、調べ学習を進めるページが設定されている。 ・「ステップアップ」の発問が用意されていて、毎時間より「深い学び」への問いが用意されている。 ・章末の「まとめ」では、歴史に関わる事象について確認する時間を設定してあり、自分の学習を振り返る場面が用意されている。	・各章の導入で、4ページを使い、前後の時代との比較やめあての確認、年表や地図を提示して、生徒の興味・関心が高まる構成となっている。 ・「チャレンジ歴史」という特設ページを構成し、主体的に取り組むことができる課題を設定したり、グループでの話し合いや意見交換を促す対話的な学びのステップが提示したりするページが設定されている。 ・1時間ごとに「見方・考え方」コーナーや「深めよう」コーナーが設定されていて、「歴史に関する事象の見方・考え方」を働かせて学習を進めやすいページ構成となっている。	・各章の導入で、提示された資料が歴史に関わる事象の様子や変化、広がりがわかるように工夫されていて、生徒の興味・関心を高める構成になっている。 ・毎時間の学習後に挑戦することができワンポイントの課題「チャレンジ」を設定することで、新たな問いを生み出せるような工夫が見られる。 ・各章末に、「時代の特徴を考えるページ」を提示し、時代の特徴を大づかみに捉えることができるように、友課題が設けられている。その課題が各章ごとをまとめる学習活動につながっている。	・各章の導入で、「〇〇の世界へようこそ!」という見開きのページに資料を大きく提示し、時代の移り変わりについて、生徒の興味・関心が高まる構成となっている。 ・キャラクターが資料の読み取りや、考察を促すようにしていて、主体的に学ぶための手立てが示されている。 ・章末の「歴史のターニングポイント」では、歴史に関わる事象をくわしく掘り下げるコーナーを設定し、友達と議論するような問いを設定している。 ・「学習のまとめ」では、その時代の歴史の流れを大観し、基本的用語を押さえられるような構成になっている。	・各章の導入で、特色のある教材を設定して、関心をもって調べ学習が進められるようにされている。 ・各ページに思考を促す問いが設定されていて、仮説を立てやすい構成になっている。 ・各ページ、太字で語句が表されていないので、生徒たちが歴史を大観しながら学習を進めやすい構成になっている。 ・章末に時代の変化について、自分で振り返りながらまとめるコーナーが掲載されている。 ・「歴史を体験する」では歴史の理解が深まるような作業的・体験的な活動を加えた教材を取り上げている。
3 配列・分量	○教材の配列、分量には、どのような特色があるか。	・各章の導入で、必ず小学校の学習の振り返りを生かして課題をつかむ「探究課題」を示し、単元の内容で探究課題を追究し、単元末で探究課題を解決するなど配列に特色が見られる。 ・各時代の分量がバランスよく取り上げられており、各時代の特色を大観して捉え、多面的・多角的に考察し表現できるような特色が見られる。	・各章の導入の「学習を始めよう」で単元の予想を立て、各章の展開で自分の地域の歴史を調べる「身近な地域の歴史を調べよう」を示し、各章末では「学習のまとめと表現」を設けるなど配列に特色が見られる。 ・近代や現代に多くのページを充てており、日本の近代化から現代の日本と世界につながる学習が深まるような特色が見られる。	・各章の導入にイラストでその時代をイメージする「タイムトラベル」を示し、単元の展開で「イラスト世界地図」を示し、章末で「時代の特色を説明しよう」を設けるなど配列に特色が見られる。 ・近世や近代に多くのページを充てて、武家政権の展開や、近代国家の歩みと二度の世界大戦についての学習が深まるような特色が見られる。	・見開きのページごとに、美術作品・遺物・史跡の図版から何が読み取れるかの発問を示したり、「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」等を示したりするなど配列に特色が見られる。 ・中世や近世に多くのページを充てて、中世社会の成立や武家社会の成長、近世社会の成立、幕藩体制に關しての学習が深まるような特色が見られる。	・学習課題ごとに、課題解決に向けての手がかりになる主な「見方・考え方」を示したり、「チャレンジ歴史」を考えよう」や「地域からのアプローチ」等を示したりするなど配列に特色が見られる。 ・古代や中世、現代に多くのページを充てて、古代までの日本と世界、中世及び現代の日本と世界についての学習が深まるような特色が見られる。	・見開きのページごとに通し番号が示されているため、全体を捉えやすくなっている。また、各章の展開では、学習内容の理解を深めるための「もっと知りたいコラム」を示すなど配列に特色が見られる。 ・古代に多くのページを充てて、原と古代の日本について取り上げ、その中で日本のあけぼのと世界の文明、「日本」の国の成り立ちについての学習が深まるような特色が見られる。	・各章の導入に歴史の大きな流れをつかむための「鳥の目で見える歴史絵巻」を示し、章末では「歴史のターニングポイント」を示すなど配列に特色が見られる。 ・近代や現代に多くのページを充て始と古代の日本について取り上げ、その中で日本のあけぼのと世界の文明、「日本」の国の成り立ちについての学習が深まるような特色が見られる。	・各章の導入にテーマに基づいたそれぞれの時代の世界地図を描く「章の扉ページ」を示し、章末では「章をふりかえる」を入れるなど配列に特色が見られる。 ・近代や現代に多くのページを充て、世界は近代へ、近代国家へと歩む日本、帝国主義の時代、第二次世界大戦の時代、現代の日本と世界についての学習が深まるような特色が見られる。
4 表記・体裁	○用語や資料、使用上の便宜等については、どのような工夫が見られるか。	・「分野関連マーク」、「教科関連マーク」を取り入れ、他分野・他教科との関わりを示している。 ・本文の下にページ数が「青字で記入されており、関連事項の確認ができる。 ・世界遺産、国宝、重要文化財の表記が資料に示されている。 ・巻末の年表には、日本と外国の関連性を示したり、歴史の流れが理解できるポイントが記載されていたりする。 ・年表スケールが各ページに掲載してあり、学習している時代や年代を確認しやすくなっている。 ・目次の前に国宝、重要文化財、世界遺産の写真を提示し、生徒の意欲を高めようとしていたり、持続可能な社会の実現に向けての観点が示していたりする。 ・AB版	・小学校で既習した人物と中学校で学習する人物を、表記でわかるようにしている。 ・側注として難解語句の補足説明を加えている。 ・世界遺産、国宝、重要文化財の表記が資料に示されている。 ・巻末の年表は、100年ごとに区切りがあり、時代の流れが理解できるようポイントが掲載されている。また、文化の動きや世界の歩みが独立しているので分かりやすい。 ・年表スケールが各ページで分かりやすくまとめ、次のページで学習コラムや教科書中の説明を記載し、生徒が理解しやすい構成になっている。 ・「歴史にアプローチ」で、歴史の見方・考え方と学習の進め方を丁寧に解説している。 ・AB版	・世界遺産、国宝の表記が資料に示されている。 ・側注に難解語句の補足説明を加えている。 ・巻末の年表には、日本と海外の交流をイラスト等を用いて示し、外国との関係を分かりやすくしている。 ・見開きのページの左下に、小学校や他分野との関連について記載してある。 ・奇数ページには、このページで学習する時期と時代が分かる年表が掲示してある。 ・表紙の裏と裏表紙の裏に年表を掲載することで、歴史の流れを捉えさせる工夫が見られる。 ・人物索引では記号を使い、その人物がどのような功績をもつ人物なのかを示している。また、すべての人物にルビをつけている。 ・AB版	・高校との接続を考え、高校の教科書で扱う資料を口語体にして提示してある。 ・文末を「です・ます」ではなく、「である」にしてある。 ・世界遺産、国宝の表記が資料に示されている。 ・側注に難解語句の補足説明を加えている。 ・本文に、関連のある「コラム」や「用語」について色を付けて掲示してあり、関連や補足を見付けやすくなっている。 ・表紙の裏に日本の世界遺産の昔の国名表記と写真を提示し、生徒の意欲を高めようしている。 ・裏表紙の裏見開きのページに現在の世界地図と気候区分が載せてあり、現代社会とのつながりを確認することができる。 ・AB版	・世界遺産、国宝の表記が資料に示されている。 ・側注にキーワードや難解語句の補足説明を加えている。 ・巻末の年表には、「歴史モノサシ」が載せられており、現在学習している時代の地点が分かりやすい。 ・本文を補う注釈や関連記事が数字で示され解説されており、用語を理解しやすい。 ・表紙の裏には、「私たちと歴史とのつながり」というページを設定し、生徒が歴史のつながりを意識できるようになっている。 ・目次の次に、教科書の構成と使い方について、見開きのページで詳しく説明してある。 ・「資料活用」コーナーを設け、資料を用いた活動を提案している。 ・人物索引にはすべての人物にルビをつけている。 ・AB版	・本時の課題が毎時間記載されており、学ぶ内容が明確になっている。 ・偶数ページの下には「歴史モノサシ」が載せられており、現在学習している時代の地点が分かりやすい。 ・本文を補う注釈や関連記事が数字で示され解説されており、用語を理解しやすい。 ・関連のあるコラムとして、「もっと知りたい」、「人物クローズアップ」、「外の目から見た日本」の3種類が歴史的背景に即し、数多く紹介されている。 ・各章の章末に、「1 調べ学習のページ」、「2 復習問題のページ」、「3 時代の特徴を考えるページ」、「4 対話とまとめ図のページ」があり、生徒が章のまとめに活用しやすい。 ・AB版	・世界遺産、国宝の表記が資料に示されていて、本文の下にページ数が赤で記入されており、関連事項の確認ができる。 ・側注に難解語句の補足説明を加えている。 ・巻末の年表では、外国との関係を矢印で示し、分かりやすく表している。 ・目次の前に日本の美の形が「記載され、文化に対する生徒の興味・関心を高めている。 ・目次は3ページで「歴史ビュー」、「人物クローズアップ」が別枠で記載されており、生徒が探しやすいよう配慮されている。 ・「歴史の旅を始めよう」から「歴史の旅の終わりに」という1つの流れから歴史学習を進めている。 ・AB版	・側注にキーワードや難解語句の補足説明を加えている。 ・歴史の舞台に焦点をあてた「フォーカス」コーナーがあり、より詳しく説明する記載がある。 ・巻末の年表は、見開きで日本の社会・経済、日本の文化、世界の動きを表し、人物の写真や文化をまとめた表などを記載している。年表の総ページ数は12ページとなっている。 ・表紙の裏には、歴史学習に関連する内容が記された世界地図、裏表紙の裏には同様の内容の日本地図が掲載されている。 ・目次の前にはこの教科書の使い方が掲示されている。 ・索引は、人物・出来事を分けず、一緒に検索することができる。 ・A4版